

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-本-003-02
提出年月日	2022年9月8日

島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料  
原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備  
(主蒸気系)

(本文)

2022年9月

中国電力株式会社

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

## 原子炉冷却系統施設

### 4. 原子炉冷却材の循環設備

#### 4.1 主蒸気系

##### (3) 容器

- ・逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータ
- ・逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ

##### (5) 主蒸気流量制限器（改良型沸騰水型発電用原子炉施設に係るものを除く。）

##### (6) 安全弁及び逃がし弁

##### (7) 主要弁

##### (8) 主配管

## 4. 原子炉冷却材の循環設備に係る次の事項

## 4.1 主蒸気系

## (3) 容器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数

			変更前	変更後
名 称			逃がし安全弁逃がし弁機能用 アキュムレータ	逃がし安全弁逃がし弁機能用 アキュムレータ*1
種 類	—		横置円筒形	変 更 な し
容 量	ℓ/個	□*2(15*3)		
最 高 使 用 圧 力	MPa		1.77*4	変更なし 2.20*5
最 高 使 用 温 度	℃		171	変更なし 200*5
主 要 寸 法	胴 外 径*6	mm	216.3*3	変 更 な し
	胴 板 厚 さ	mm	□*7(8.2*3)	
	平 板 厚 さ	mm	□*7(30.0*3) □*7(30.0*3)	
	管台外径(流体出入口)*7	mm	60.0*3	
	管台厚さ(流体出入口)*7	mm	□(8.4*3)	
	全 長	mm	550*3	
材 料	胴 板	—	SUS304TP	変 更 な し
	平 板	—	SUS304	
個 数	—		12	

(つづき)

			変 更 前	変 更 後
*8 取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	A, B, C, D, E, F, G, H, J, K, L, M-逃がし安全弁逃がし弁機能用ア キュムレータ*2 (A, B, C, D, E, F, G, H, J, K, L, M-主蒸気系)	変 更 な し
	設 置 床	—	原子炉格納容器内 EL 23800mm*2	
	溢水防護上の区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

注記\*1：計測制御系統施設のうち制御用空気設備（逃がし安全弁窒素ガス供給系）と兼用

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3：公称値を示す。

\*4：S I 単位に換算したものである。

\*5：重大事故等時における使用時の値

\*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴内径」と記載

\*7：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和60年4月27日付け59資庁第17250号にて認可された工事計画の添付書類「IV-2-1-2-2 逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータの強度計算書」による。

\*8：計測制御系統施設のうち制御用空気設備の逃がし安全弁窒素ガス供給系に使用する場合の記載事項

			変更前	変更後
名 称			逃がし安全弁自動減圧機能用 アキュムレータ	
種 類	—		横置円筒形	
容 量	ℓ/個		□* <sup>1</sup> (170* <sup>2</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa		1.77* <sup>3</sup>	
最 高 使 用 温 度	℃		171	
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	450* <sup>2</sup>	
	胴 板 厚 さ	mm	□* <sup>4</sup> (12.0* <sup>2</sup> )	
	平 板 厚 さ	mm	□* <sup>4</sup> (55.0* <sup>2</sup> )	□* <sup>4</sup> (55.0* <sup>2</sup> )
	管 台 外 径 (流 体 出 入 口)* <sup>4</sup>	mm	60.0* <sup>2</sup>	
	管 台 厚 さ (流 体 出 入 口)* <sup>4</sup>	mm	□(8.4* <sup>2</sup> )	
	全 長	mm	1200* <sup>2</sup>	
材 料	胴 板	—	SUS304	
	平 板	—	SUS304	
個 数	—		6	

変更なし

(つづき)

			変 更 前	変 更 後
*5 取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	B, D, E, G, K, M-逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ*1(B, D, E, G, K, M-主蒸気系)	変 更 な し
	設 置 床	—	原子炉格納容器内 EL 23800mm*1	
	溢水防護上の区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	

注記\*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*2：公称値を示す。

\*3：S I 単位に換算したものである。

\*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和60年4月27日付け59資庁第17250号にて認可された工事計画の添付書類「IV-2-1-2-3 逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータの強度計算書」による。

\*5：計測制御系統施設のうち制御用空気設備の逃がし安全弁室素ガス供給系に使用する場合の記載事項

(5) 主蒸気流量制限器（改良型沸騰水型発電用原子炉施設に係るものを除く。）の名称，種類，最高使用圧力，最高使用温度，制限流量，主要寸法，材料，個数及び取付箇所

		変更前				変更後								
名	称	主蒸気流量制限器				変更なし								
種	類	—	ベンチュリ形											
最	高	使	用	圧	力		MPa	8.62*1						
最	高	使	用	温	度		°C	302						
制	限	流	量	—	定格流量の200%									
主	管	外	径	mm	609.6									
	管	厚	さ*2	mm	□ (30.9*3)									
材	料	管	—	STS49										
個	数	—	4											
取	系	統	名	—	A-主蒸気流量制限器*2 (A-主蒸気系)		B-主蒸気流量制限器*2 (B-主蒸気系)	C-主蒸気流量制限器*2 (C-主蒸気系)	D-主蒸気流量制限器*2 (D-主蒸気系)					
	(	ラ	イ	ン	名									
付	設	置	床	—	原子炉格納容器内 EL 15300mm*2	原子炉格納容器内 EL 15300mm*2	原子炉格納容器内 EL 15300mm*2	原子炉格納容器内 EL 15300mm*2						
箇	溢	水	防	護	上	の	区	画	番	号	—			
	溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ

注記\*1：S I 単位に換算したものである。

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

\*3：公称値を示す。

(6) 安全弁及び逃がし弁の名称, 種類, 吹出圧力, 吹出量, 主要寸法, 材料, 駆動方法, 個数 (自動減圧機能を有する場合は, その個数を付記すること。), 取付箇所及び吹出場所

				変更前				変更後	
名		称		RV202-1A, B, C, D, E, F, G, H, J, K, L, M <sup>*1</sup>				変更なし	
種		類		—					平衡型
*2 吹 出 圧 力 及 び 吹 出 量	逃がし弁機能			吹出圧力(MPa)		吹出量(t/h/個)			
	第1段	RV202-1A, J	—	7.58 <sup>*3</sup>		<input type="checkbox"/>			
	第2段	RV202-1C, F, L	—	7.65 <sup>*3</sup>		<input type="checkbox"/>			
	第3段	RV202-1D, H, M	—	7.72 <sup>*3</sup>		<input type="checkbox"/>			
	第4段	RV202-1B, E, G, K	—	7.79 <sup>*3</sup>		<input type="checkbox"/>			
	安全弁機能			吹出圧力(MPa)		吹出量(t/h/個)			
	第1段	RV202-1A, J	—	8.14 <sup>*3</sup>		<input type="checkbox"/>			
	第2段	RV202-1C, F, L	—	8.21 <sup>*3</sup>		<input type="checkbox"/>			
主 要 寸 法	呼び径		(A)	150					
	のど部の径		mm	<input type="checkbox"/>					
	弁座口の径		mm	<input type="checkbox"/>					
	リフト		mm	<input type="checkbox"/> 以上					
材 料 ( 弁 箱 )			—		<input type="checkbox"/>				
駆 動 方 法 <sup>*2</sup>			—		窒素及びバネ作動				
個 数			—		12(6 <sup>*4</sup> )				
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )		—	RV202-1A, B, C, D <sup>*5</sup> (A-主蒸気管)	RV202-1E, F <sup>*5</sup> (B-主蒸気管) <sup>*5</sup>	RV202-1G, H <sup>*5</sup> (C-主蒸気管) <sup>*5</sup>	RV202-1J, K, L, M <sup>*5</sup> (D-主蒸気管) <sup>*5</sup>		
	設 置 床		—	原子炉格納容器内 EL 2380mm <sup>*5</sup>					
	溢水防護上の区画番号		—						
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—					
吹 出 場 所 <sup>*2</sup>			—		サブプレッションプール水面下				



注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「逃がし安全弁」と記載

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和60年4月27日付け59資庁第17250号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1 逃がし安全弁の吹出量計算書」による。

\*3：S I 単位に換算したものである。

\*4：自動減圧機能を有する弁の個数を示す。

\*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(7) 主要弁の名称, 種類, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 駆動方法, 個数及び取付箇所 (主蒸気隔離弁にあっては, 閉止時間及び漏えい率を付記すること。)

		変 更 前				変 更 後
名 称		AV202-1A, B, C, D* <sup>1</sup>				変更なし
種 類	—	止め弁				
最 高 使 用 圧 力	MPa	8.62* <sup>2</sup> , * <sup>3</sup>				
最 高 使 用 温 度	℃	302* <sup>2</sup>				
主 要 寸 法	呼 び 径	(A)	600			
	弁 箱 厚 さ* <sup>4</sup>	mm	□以上			
	弁 ふ た 厚 さ* <sup>4</sup>	mm	□以上			
材 料	弁 箱	—	□			
	弁 ふ た	—	□			
	弁 体* <sup>4</sup>	—	□			
駆 動 方 法	—	空気作動 (窒素作動)				
閉 止 時 間* <sup>4</sup>	s	3~4.5				
漏 え い 率* <sup>4</sup>	%/d/個	10 以下 (主蒸気逃がし安全弁 (逃がし弁機能) 最低設定圧力において, 原子炉圧力容器気相の体積に対し, 飽和蒸気で)				
個 数	—	4				
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	AV202-1A* <sup>4</sup> (A-主蒸気系)	AV202-1B* <sup>4</sup> (B-主蒸気系)	AV202-1C* <sup>4</sup> (C-主蒸気系)	
	設 置 床	—	原子炉格納容器内 EL 15300mm* <sup>4</sup>	原子炉格納容器内 EL 15300mm* <sup>4</sup>	原子炉格納容器内 EL 15300mm* <sup>4</sup>	原子炉格納容器内 EL 15300mm* <sup>4</sup>
	溢水防護上の区画番号	—	—			
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—				

注記\*1: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気隔離弁」と記載

\*2: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 既工事計画書の主配管「原子炉圧力容器から原子炉格納容器外側の主蒸気隔離弁まで」による。

\*3: S I 単位に換算したものである。

\*4: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

		変更前				変更後	
名	称	AV202-2A, B, C, D* <sup>1</sup>				変更なし	
種	類	—	止め弁				
最	高 使 用 圧 力	MPa	8.62* <sup>2</sup> , * <sup>3</sup>				
最	高 使 用 温 度	℃	302* <sup>2</sup>				
主 要 寸 法	呼 び 径	(A)	600				
	弁 箱 厚 さ* <sup>4</sup>	mm	□以上				
	弁 ふ た 厚 さ* <sup>4</sup>	mm	□以上				
材 料	弁 箱	—	□				
	弁 ふ た	—	□				
	弁 体* <sup>4</sup>	—	□				
駆 動 方 法	—	空気作動					
閉 止 時 間* <sup>4</sup>	s	3~4.5					
漏 え い 率* <sup>4</sup>	%/d/個	10 以下 (主蒸気逃がし安全弁 (逃がし弁機能) 最低設定圧力において, 原子炉圧力容器気相の体積に対し, 飽和蒸気で)					
個 数	—	4					
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	AV202-2A* <sup>4</sup> (A-主蒸気系)	AV202-2B* <sup>4</sup> (B-主蒸気系)	AV202-2C* <sup>4</sup> (C-主蒸気系)		AV202-2D* <sup>4</sup> (D-主蒸気系)
	設 置 床	—	原子炉建物 EL 15300mm* <sup>4</sup>	原子炉建物 EL 15300mm* <sup>4</sup>	原子炉建物 EL 15300mm* <sup>4</sup>		原子炉建物 EL 15300mm* <sup>4</sup>
	溢水防護上の区画番号	—					
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—				

注記\*1: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気隔離弁」と記載

\*2: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 既工事計画書の主配管「原子炉圧力容器から原子炉格納容器外側の主蒸気隔離弁まで」による。

\*3: S I 単位に換算したものである。

\*4: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

(8) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
主蒸気系	原子炉压力容器 ～ D-逃がし安全弁入口ライン分岐部*2	8.62*3	302	609.6	30.9*1	STS42	主蒸気系	変更なし 8.98*4	変更なし 304*4	変更なし	変更なし	
	609.6			30.9*1	STS49							
	D-逃がし安全弁入口ライン分岐部 ～ C-逃がし安全弁入口ライン分岐部*2	8.62*3	302	609.6	30.9*1	STS49		変更なし 8.98*4	変更なし 304*4	変更なし	変更なし	変更なし
	C-逃がし安全弁入口ライン分岐部 ～ B-逃がし安全弁入口ライン分岐部*2											
	B-逃がし安全弁入口ライン分岐部 ～ A-逃がし安全弁入口ライン分岐部*2	8.62*3	302	609.6	30.9*1	STS49		変更なし 8.98*4	変更なし 304*4	変更なし	変更なし	
	原子炉压力容器 ～ 原子炉隔離時冷却系分岐部*2											8.62*3
	609.6	□*6(30.9*1)	SFVC2B									
	原子炉隔離時冷却系分岐部 ～ F-逃がし安全弁入口ライン分岐部*2	8.62*3	302	627.8	□*6(40.0*1)	SFVC2B		変更なし 8.98*4	変更なし 304*4	変更なし	変更なし	変更なし
	原子炉隔離時冷却系分岐部 ～ F-逃がし安全弁入口ライン分岐部*2			627.8	□*6(40.0*1)	SFVC2B						
	609.6											
F-逃がし安全弁入口ライン分岐部 ～ E-逃がし安全弁入口ライン分岐部*2	8.62*3	302	609.6	30.9*1	STS49	変更なし 8.98*4	変更なし 304*4	変更なし	変更なし	変更なし		
609.6				30.9*1	STS49							

変更前						変更後					
名	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
主 蒸 気 系	原子炉圧力容器 ～ H-逃がし安全弁入口ライン分岐部 *2	8.62*3	302	609.6	30.9	STS42	主 蒸 気 系	変更なし 8.98*4	変更なし 304*4	変更なし	
	609.6			30.9	STS49						
	H-逃がし安全弁入口ライン分岐部 ～ G-逃がし安全弁入口ライン分岐部 *2	8.62*3	302	609.6		30.9		STS49	変更なし 8.98*4	変更なし 304*4	変更なし
	原子炉圧力容器 ～ M-逃がし安全弁入口ライン分岐部 *2				8.62*3						
	609.6	30.9	STS49								
	M-逃がし安全弁入口ライン分岐部 ～ L-逃がし安全弁入口ライン分岐部 *2	8.62*3		302	609.6	30.9		STS49	変更なし 8.98*4	変更なし 304*4	変更なし
	L-逃がし安全弁入口ライン分岐部 ～ K-逃がし安全弁入口ライン分岐部 *2		8.62*3								
	K-逃がし安全弁入口ライン分岐部 ～ J-逃がし安全弁入口ライン分岐部 *2	8.62*3		302	609.6	30.9		STS49	変更なし 8.98*4	変更なし 304*4	変更なし

変更前						変更後					
名	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
主 蒸 気 系	A, E, G, J-逃がし安全弁入口ライン 分岐部 ～ 原子炉格納容器外側主蒸気隔離弁 *2	8.62*3	302	609.6	30.9*1	STS49	変 更 な し				
	原子炉隔離時冷却系分岐部*7	8.62*3	302	114.3	□*6(11.1*1)	SFVC2B	原子炉隔離時冷却系分岐部*5	変更なし 8.98*4	変更なし 304*4	変 更 な し	
	A, B, C, D, E, F, G, H, J, K, L, M-逃がし安全弁入口ライン分岐部 ～ 逃がし安全弁*8	8.62*3	302	216.3	□*6(28.15*1)	SFVC2B	変 更 な し	変更なし 8.98*4	変更なし 304*4	変 更 な し	

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚  さ (mm)	材  料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚  さ (mm)	材 料	
主蒸気系	逃がし安全弁（自動減圧機能） ～ 格納容器配管貫通部（貫通部番号 X-280A, D, F, G, J, M）*9	3.73*3	250	267.4	15.1*1	STPT42	変更なし	3.73*3	250	267.4	15.1*1	STPT42
				267.4	15.1*1	STPT42						
				/267.4	/15.1*1	STPT42						
	/-	/-										
	267.4*10	15.1*1, *10	STPT42*10									
格納容器配管貫通部（貫通部番号 X-280A, D, F, G, J, M） ～ サプレッションチェンバ内排気管*9	3.73*3	250	267.4	15.1*1	STPT42	変更なし	3.73*3	250	267.4	15.1*1	SCS19	
			323.8	□*6(17.4*1)	SCS19							

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
—						主 蒸 気 系	3.73*4	250*4	267.4	15.1*1	STPT42
									267.4*10	15.1*1, *10	STPT42*10
									267.4 /267.4 /—	15.1*1 /15.1*1 /—	STPT42
									267.4	15.1*1	STPT42
						3.73*4	250*4	323.8	<input type="text" value="17.4"/> (17.4*1)	SCS19	



3-1-18

変更前						変更後											
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材料						
主蒸気系 逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ ～ 窒素ガス供給ライン逃がし安全弁自動減圧機能側合流部*12 窒素ガス供給ライン逃がし安全弁自動減圧機能側合流部 ～ 逃がし安全弁*12	1.77*3	171	42.7	4.9*1	SUS304TP	主蒸気系	変更なし										
			57.0	□ (6.9*1)	SUS304												
			60.5	□ (12.5*1)	SUS304												
	1.77*3	171	42.7	4.9*1	SUS304TP							変更なし					
			42.7	□ (7.85*1)	SUS304												
			40.0	0.45*1×1*13	SUS304												
			42.7	4.9*1	SUS316LTP												
			60.5	3.9*1	SUS304TP												
			60.5	□ (12.5*1)	SUS304												
			57.0	□ (6.9*1)	SUS304												

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材料
主蒸気系 逃がし安全弁 逃がし弁機能用ア キュムレータ ～ 窒素ガス供給ラ イン逃がし安全 弁逃がし弁機能 側合流部*12	1.77*3	171	42.7	4.9*1	SUS304TP	主蒸気系 逃がし安全弁 逃がし弁機能用ア キュムレータ ～ 窒素ガス供給ラ イン逃がし安全 弁逃がし弁機能 側合流部*14	変更なし 2.20*4	変更なし 200*4	変更なし		
			—						43.2*11, *15	6.2*11, *15	SUS304*11
			42.7	4.9*1	SUS316LTP				変更なし		
主蒸気系 窒素ガス供給ラ イン逃がし安全 弁逃がし弁機能 側合流部 ～ 逃がし安全弁*12	1.77*3	171	—			主蒸気系 窒素ガス供給ラ イン逃がし安全 弁逃がし弁機能 側合流部 ～ 逃がし安全弁*14	変更なし 2.20*4	変更なし 200*4	43.2*11, *15	6.2*11, *15	SUS304*11
			/43.2*11, *15	/6.2*11, *15							
			/43.2*11, *15	/6.2*11, *15							
			変更なし						変更なし		
			42.7	7.85*1	SUS304				42.7	7.85*1	SUS304
			41.5	0.3*1×1*13	SUS304				41.5	0.3*1×1*13	SUS304
			変更なし						変更なし		
43.2*11, *15	6.2*11, *15	SUS304*11	43.2*11, *15	6.2*11, *15	SUS304*11						

変更前						変更後							
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料		
主蒸気系	原子炉格納容器外側 主蒸気隔離弁 ～ 主蒸気ヘッド*16	8.62*3	302	609.6	30.9*1	変更なし							
				609.6	□*17(30.9*1)								SB49
				609.6	□*17(30.9*1)								SF50A
				695.8	□*17(74.0*1)								SF50A
	主蒸気ヘッド	8.62*3	302	1625.6	□*17(90.0*1)	SF50A	変更なし						
	主蒸気ヘッド ～ 主蒸気止め弁*16	8.62*3	302	695.8	□*17(74.0*1)	SF50A	変更なし						
				609.6	□*17(30.9*1)	SF50A							
				609.6	□*17(30.9*1)	SB49							
	主蒸気ヘッド ～ タービンバイパス弁 *18	8.62*3	302	1178.0	□*17(108.0*1)	SF50A	変更なし						
				1066.8	□*17(52.4*1)	SF50A							
				1066.8	□*17(52.4*1)	SB49							
				1118.0	□*17(78.0*1)	SB49							
				609.8	□*17(54.0*1)	SF50A							
				558.8	□*17(28.5*1)	SF50A							
558.8	□*17(28.5*1)	SB49											
タービンバイパス弁 ～ タービンバイパス減 圧管	5.88*3	275	406.4	21.4*1	STPT49	変更なし							

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 　　さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 　　さ (mm)	材 料
主蒸気系 主蒸気ヘッド ～ 弁MV202-201*19	8.62*3	302	194.0	□*17(28.7*1)	SF50A	変更なし					
			165.2	□*17(14.3*1)	SF50A						
			165.2	14.3*1	STPT42						

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄文末に「～まで」と記載

注記\*1：公称値を示す。

\*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉压力容器から原子炉格納容器外側の主蒸気隔離弁まで」と記載

\*3：S I 単位に換算したものである。

\*4：重大事故等時における使用時の値

\*5：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧原子炉代替注水系，原子炉隔離時冷却系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（高圧原子炉代替注水系）と兼用

\*6：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，昭和60年4月27日付け59資庁第17250号にて認可された工事計画の添付書類「IV-2-1-2-1-1 管の基本板厚計算書」による。

\*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉压力容器から原子炉格納容器外側の主蒸気隔離弁まで」の分岐点から原子炉隔離時冷却系との取合点まで」と記載

\*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉压力容器から原子炉格納容器外側の主蒸気隔離弁まで」の分岐点から逃がし安全弁まで」と記載

\*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「逃がし安全弁（自動減圧機能）からサプレッションチェンバ内の排気管まで」と記載

\*10：エルボを示す。

\*11：本設備は既存の設備である。

- \*12 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- \*13 : 層数を示す。
- \*14 : 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（逃がし安全弁窒素ガス供給系）と兼用
- \*15 : 差込み継手の差込み部内径及び最小厚さ
- \*16 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外側の主蒸気隔離弁から主蒸気止め弁まで」と記載
- \*17 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 60 年 12 月 25 日付け 60 資庁第 11431 号にて認可された  
工事計画の添付書類「IV-3-2-1-1-1 管の基本板厚計算書」による。
- \*18 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気ヘッダ」の分岐点からタービンバイパス弁まで」と記載
- \*19 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気ヘッダ」の分岐点から補助蒸気系との取合点まで」と記載

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
主蒸気系 (主蒸気隔離弁漏えい制御系)	原子炉格納容器外 側主蒸気隔離弁 ～ サプレッションチ ェンバ内排気管及 び原子炉建物開放 出口ライン合流部 *2	8.62	302	61.1*3	10.9*3	SFVC2B	主蒸気系 (主蒸気隔離弁漏えい制御系)	—*4				
				60.5	8.7	STS42						
				61.1*3 /61.1*3	10.9*3 /10.9*3	SFVC2B						
				/—	/—							
				60.5	8.7	STPT42						
				114.3	8.6	STPT42						
				114.3*5	8.6*5	STPT42*5						
				114.3	11.1	STPT42						
114.3	8.6	SB42										
	0.427	171	60.5	5.5	STPT42						廃止*6	
原子炉建物開放出 口ライン合流部 ～ 原子炉建物開放*2	0.427	171	60.5	5.5	STPT42						廃止*6	

変 更 前						変 更 後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
主蒸気系 (主蒸気隔離弁漏えい制御系)	原子炉格納容器外 側主蒸気隔離弁以 降主蒸気系母管分 岐点 ～ サプレッションチ ェンバ内排気管及 び原子炉建物開放 出口ライン合流部 *2	8.62	302	67.5	□ (12.2*1)	S25C	主蒸気系 (主蒸気隔離弁漏えい制御系)	0.427	171	60.5	5.5*1	STPT42
				91.0	□ (14.95*1)	S25C						
				60.5	8.7*1	STPT42						
				61.1*3	10.9*3	S25C						
				61.1*3 /61.1*3	10.9*3 /10.9*3	S25C						
				/-	/-							
				114.3	8.6*1	STPT42						
				114.3*5	8.6*1, *5	STPT42*5						
				114.3	11.1*1	STPT42						
114.3	8.6*1	SB42										
	0.427	171	60.5	5.5*1	STPT42						廃止*6	

注記\*1：公称値を示す。

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3：差込み継手の差込み部内径及び最小厚さ

\*4：主蒸気隔離弁漏えい制御系機能除却に伴い、主たる機能を果たす配管ではなくなることによる。なお、一部の配管については、ドレンラインとして運用する。

\*5：エルボを示す。

\*6：主蒸気隔離弁漏えい制御系機能除却に伴い、当該配管を機能削除することによる。